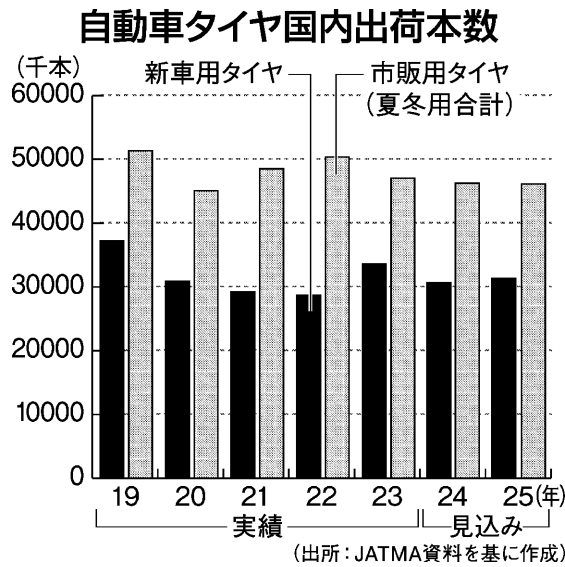


4月8日「タイヤの日」

タイヤ産業

新たなカーライフ提案



自動車タイヤは路面の間に生じる摩擦力で走行や方向を操る。停止を行うだけでなく、内部に充填した空気が振動を吸収するなど、自動車において重要な役割を担い、揺るぎない存在感を持つ。国内のタイヤ需要は高まりをみせる中、主要メーカーは安心・安全なドライブに向けて、最適なタイヤを届けている。

日本自動車タイヤ協会(JATMA)が2024年12月に発表した「自動車タイヤ国内需要見通し」に

新車用2%増 3135万本 今年

4月8日はドライバーにタイヤへの関心を喚起しタイヤの正しい使用方法を啓発すること。交通安全の対策に取り組む「タイヤの日」。5月の連休「ゴールデンウィーク」を目前に、冬タイヤから夏タイヤへの交換時期を迎える。主要メーカーは安心・安全なドライブに向けて、スポーツ多目的車(SUV)や軽自動車などのタイプに向けて最適なタイヤを提案している。

不安定化が懸念される状況にあるという。タイヤ産業もまた、そうした影響を大きく受けている。人々は生活や社会での営みの中で、根源的な欲求の一つとして『モビリティ』を求めていると捉える。2024年の訪日外国人旅行者はコロナ禍前の19年を上回り、過去最高を記録した。

「自動車はモビリティの主役であり、自動車タイヤはこれを支える重要な商品の一つ。どのような世界にあってもこの位置づけが変わることはなく、同時に自動車タイヤの供給という我々の活動の達成すべき目標が『安全』と『環境』であることも変わりはない。

SUV堅調

こうした中、住友ゴム工業はSUV用タイヤの市場は引き続き、堅調に需要が伸び続け、想定を超える。また、24年に新商品として次世代オールシーズンタイヤ「SYNCHRO WEATHER」や「SPORT V107」や、優れた静粛性を追求したプレミアムコンフォートタイヤ「d.b.v.553」の拡販に注力する。

独自のポジション

TOYO TIREの25年度(1~12月)の売上高は、タイヤ増販による増加を見込んでいる。特徴ある商品を継続投入し、独自のポジション堅持をめざす。

1月の東京オートサロンでは、同社ならではのSUV用大口径タイヤやウルトラハイパフォーマンスタイヤと合わせ、サステナブル素材比率91%のコンセプトタイヤも出品。実際の市販用タイヤでも環境を考慮した素材の採用比率をさらに高めていく。

大型タイヤ

横浜ゴムはクロバールラッグシップタイヤブランド「ADVAN(アドバン)」や18インチ以上のタイヤの拡販に取り組む。今シーズンの国内販売では、高次元のクルーシング性能を発揮するウルトラハイパフォーマンスタイヤ「ADVAN Sport V107」や、優れた静粛性を追求したプレミアムコンフォートタイヤ「d.b.v.553」の拡販に注力する。

環境負荷低減に挑む

薄く・軽く・円く

ブリヂストンは、薄く・軽く・円くを追求する商品設計基盤技術「ENLITEN(エンライト)」に24年12月に取得。サステナブル原材料の製品への展開可能性が拡大する。

環境素材100%

TOYO TIREが販売しているタイヤにおけるサステナブル素材の使用率は24年時点で28%である。30年に40%、50年には100%化することを目指して研究開発を進めている。同社仙台工場はサステナブル素材活用に向け、国際持続可能性カーボン認証「ISCOP PLUS認証」を24年12月に取得。サステナブル原材料の製品への展開可能性が拡大する。

雨の日でも安全

横浜ゴムは雨の日でもドライバーの安全を確保するため、継続してウェット性能に優れたタイヤ開発を積極的に進めている。ウェット性能を高めるために重要な要素は、タイヤのパターンが影響する。排水性と、主にコンパウンドが影響する。ウェットグリップ力。二つ。同社はそれらを両立させ、雨の日でもしっかりと路面を捉え、「より短く止まれる」タイヤを実現する。

INTERVIEW

日本自動車タイヤ協会 会長 (住友ゴム工業社長) 山本 悟氏



日本自動車タイヤ協会(JATMA)は2000年より4月8日を「タイヤの日」と制定した。ドライバーに自動車タイヤへの関心を喚起し、タイヤの正しい使用方法を啓発すること。交通安全の対策に取り組んでいる。山本悟JATMA会長(住友ゴム工業社長)に、空気圧点検など日常の点検や整備の大切さについて聞いた。

「世界は今、経済的に政治の影響を受けており、非常に大きな激動と変革の渦中にある。米国ではトランプ新政権の発足にともない将来に対する予見の可なり、世界性は低下し、世界は不安定化が懸念される状況にあるという。タイヤ産業もまた、そうした影響を大きく受けている。人々は生活や社会での営みの中で、根源的な欲求の一つとして『モビリティ』を求めていると捉える。2024年の訪日外国人旅行者はコロナ禍前の19年を上回り、過去最高を記録した。

「タイヤは自動車の重きを支え、駆動力・制動力を路面に伝えることも、路面からの振動を吸収し、自動車の方向を維持・転換する。この重要な役割を担うタイヤを適切に機能させる上で、空気圧を適正に保つことはとても重要なこと。

「安全・環境」同時に達成 月に一度は空気圧点検を

我々がこれまでに行ってきたタイヤ点検では、残念ながらその3割弱において空気圧が不足している。この結果は高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)での点検状況で、一般道での空気圧不足比率はもっと高いものとなっている。

「適正な空気圧点検が求められる。」

「空気圧の不足は、タイヤが偏って擦り減る偏摩耗や、サイドウォール部の屈曲変形により過度の発熱を招く。そしてバーストになる可能性もある。また、タイヤが摩耗してトレッド面に施された溝が浅くなる」とハイドロプレーニング(タイヤの水上市滑走現象)が発生しやすくなり、この状態は極めて危険だ。日常にタイヤの空気圧を溝深

「タイヤの製造から使用、廃棄に至るまでのライフサイクル(LC)を通じて、タイヤに起因する環境負荷を極力減少させることが『環境』面からの我々の目標。耐摩耗性の向上などの技術開発に加え、二酸化炭素(CO2)などに関する『タイヤのLCCO2算定ガイドライン』や『低燃費タイヤ等ラベリング制度』の活用などを通じて、環境負荷の低減に向けたさまざまな取り組みを現在行っている。こうした取り組みの強化を図っていきたいと考えている。」

REGNO FEELING THE GREAT BALANCE

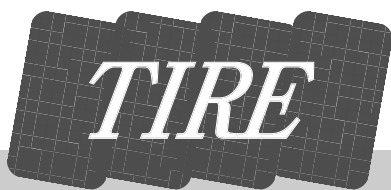
GR-XIII ENLITEN GR-XIII TYPE RV NEW

株式会社ブリヂストン
[お客様相談室] フリーダイヤル 0120-39-2936
受付時間: 月~金(祝日および指定休日は除く)9:00~17:00
www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE Solutions for your journey

BABE SHOHEI

想像を追い抜け。 DUNLOP



安全・安心なクルマ社会 実現

流通最前線

イエローハット



生誕日が8月10日でタイヤが特徴のマスコットキャラクター「ハットにゃん」がお出迎え

イエローハットの2024年度タイヤ販売は、自動車の利用頻度の増加と車齢の伸びに伴い、夏タイヤを中心に好調な販売が続いた。冬季には各地で降雪があり、スタッドレスタイヤの販売も堅調に推移。25年春はスタッドレスタイヤの履き替えを促進することで販売を強化し、豊富な価格バリエーションの展開で安

価格バリエーション豊富

専門スタッフサポート万全

ユーザーが快適なカーライフを過ごせるようにユーザーの身近で「安全・安心」を提供することに日々努めている。タイヤ販売の専門スタッフを在籍させ、ユーザーの車の使用状況やニーズに合った最適なタイヤ選びとタイヤ交換だけでなく、購入後のアフターサポートも安心して使用できるサポート体制を整えている。その一環として、タイヤ購入後のタイヤの取り付け（バルブ）の緩みを防ぐため、1回無料で締め付けトルクの確認と空気圧点検を実施している。タイ



3月27日にオープンした「イエローハット神戸垂水店」は、タイヤをより長く経済的に使用できるようにタイヤローテーションも1回無料で行っている。また、有料オプションの「タイヤパンク補償」では、万が一のパンクでも、期限内であれば新品タイヤに交換する。全国で対応し、帰省先や外出先でも安心して利用できる。消費財全体の物価高に伴い、消費者の負担が増し安価な商品や耐摩耗性の高いタイヤへのニーズが強まりをみせている。

TOYO TIRE

TOYO TIREは、SUV用タイヤブランド「OPEN COUNTRY（オープンカントリー）」シリーズのラジッドトレインタイヤ「OPEN COUNTRY R/T TRAIL」を国内で発売する。ラジッドは、でこぼこのある／こつこつした起伏のある、そういった地形や路面に対する特化性能を持つことを意味する。同社のパターン技術による高いトラクション性能、ノイズ抑制による静粛性を両立し、再生ビードワイヤーなどのサステナブル素材も採用している。アグレッシブなデザインとオフロード性能、オンロードの快適性も兼ね備えた、新たなラジッドトレインタイヤだ。

横浜ゴム

横浜ゴムはグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」や低燃費タイヤブランド「Bluearth（ブルーアース）」を中心に、ラベリング制度でウェットグリップ性能最高グレード「a」の製品拡充を進めている。2025年1月、「a」を獲得したサイズ数が、業界初となる500サイズを超えた。高次元のクルーミング性能を発揮するウルトラハイパフォーマンスタイヤ「ADVAN Sport V107」や、優れた静粛性を追求したプレミアムコンフォートタイヤ「ADVAN dB V53」の拡販に注力。全サイズで「a」を獲得し、雨の日でもより短く止まれるタイヤを提供し、安全な運転をサポートしている。

オートバックスセブン



偏摩耗などのタイヤチェックや空気圧の調整を通じて、安全・安心なクルマ社会の実現に貢献

プレミアムタイヤ堅調

オートバックスセブンの価値の高いプレミアムタイヤの売れ行きは継続して堅調に推移している。その背景には、バッテリーを搭載するEVに見られるように、車向の高重量化や、高性能化により求められるタイヤ性能が向上したことが主要因にあると分析する。新車

EV－重量化・高性能化に対応

来店するユーザーのタイヤニーズについては、直近ではオールシーズンタイヤの認知度が高まり、需要が拡大している。EV車に適応したタイヤが新発売されたこともプレミアムタイヤの販売好調の一翼を担っている。特に同社では、来店するユーザーのニーズのヒアリングを大切にしており、一人ひとりにあった最適な提



に搭載されたタイヤをベールにしたタイヤ選びが浸透しており、より良いタイヤが選ばれることが多く、25年度もこの傾向は続くと考えられる。また、安全点検キャンペーンを実施。同社は「日頃よりタイヤの状態チェックをはじめ、空気圧を正常に保つことは、安全・安心なドライブをする上で大変重要な」と考え「これからもタイヤの無料安全点検を通して、安全・安心なクルマ社会の実現に貢献する」と話す。

25年1月にリニューアルした「オートバックス宮崎大塚店」を心掛けていた。店舗におけるタイヤ交換時には、エアーゲージやデジタルデプスゲージを活用し、可視化された数値に基づいたタイヤ無料安全点検とユーザーへの啓発実施している。また、新人スタッフ教育にとどまらず、経験の長いスタッフも改めて点検基準やオペレーションを再確認の上、安全点検に努めている。

ブリヂストン

ブリヂストンはミニバン・コンパクトSUV向けの新品「REGNO GRXIII TYPE RV」を2月に発売し、同時に「同GRXIII」のサイズを拡充したことでGRXIIIシリーズのフルラインアップ化を果たした。GRXIII TYPE RVはミニバン・コンパクトSUVのユーザーニーズと、車両特徴に合わせたカスタマイズを商品設計基盤技術「ENLITEN」で実現した。RV（レクリエーション・ビークル）専用パターンを採用し、走行時のふらつきを抑制することで、後部座席での上質な「乗り心地」、安定感のある「ハンドリング」、重量車に対応した「偏摩耗の抑制」を可能にした。空間品質や走行性能といった新たな「REGNO FEELING」の価値を提供する。

住友ゴム工業

天候や路面状態に合わせてゴムを専用設計し、外部環境に合わせてタイヤを履き替えることが一般的とされるが、DUNLOPの次世代オールシーズンタイヤ「SYNCHRO WEATHERR（シンクロウェザー）」は、路面状態に合わせてゴム自体の性質が変化する新技術「アクティブトレッド」を組み込み、ゴムの持つ相反性能をアフレックス化した。同技術は水と温度をスイッチとして、ゴムの柔らかさに寄与する因子の一つであるポリマーの動きをコントロールするゴムを開発。これにより従来のオールシーズンタイヤではカバーできなかった氷上を含むドライ、ウェット、雪上などのあらゆる路面での走行が可能になった。

有力企業の製品・技術

順不同

青を灯せ

まだ、走ったことのない道へ

TOYO TIRES

タイヤは、雨で選ぼ。

BluEarth AE-01FからBluEarth GTに替えると

約20%短く止まれる！

※詳しくはカタログ・HPをご覧ください。

YOKOHAMA

横浜ゴム株式会社
0120-667-520 | www.y-yokohama.com/product/tire/
月に一度は空気圧の点検を。

詳しくはこちら